



(西病棟 7階 : NICU)

### CONTENTS

特集…………… P2



### 「寄附講座」

診療科・部門紹介…………… P3

N I C U



中央放射線部



知っ得! 納得!…………… P4

子宮頸がん  
Q&A



がん診療連携拠点病院…………… P6



大学病院…………… P7

支援室長講演



院内食堂で

TFT 運動



ホスピス・

緩和ケア病棟



掲 示 板…………… P8

### TAKE FREE

### 熊大病院 広報誌

お知らせ

### 病院敷地内全面禁煙



皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

#### 【理 念】

本院は、患者本位の医療の実践、臨床医学の発展及び医療人の育成に努め、地域の福祉と健康に貢献する。

#### 【基本方針】

- ・ 患者の主訴・希望・期待・要求を尊重する医療の実践
- ・ 適切で安全安心と高信頼性の医療サービスを仁恵の心で提供
- ・ 優れた医療人の育成
- ・ 先進医療の開発と推進

#### 【患者の権利】

- 本院はリスボン宣言に基づき、患者が持つ次の権利を認識し、それを守ります。
- ・ 良質な医療を受ける権利
  - ・ 担当の医師、病院、保健サービスを自由に選択する権利
  - ・ 十分な説明を受けた後に、治療を受け入れるか否か自由で決める権利
  - ・ 自身の情報を得る権利
  - ・ 自身の情報について秘密が守られる権利
  - ・ 健康教育を受ける権利

# 地域からの要望に、寄附講座が応えます

## ◎ 大学病院における寄附講座の活用!

近年、医師不足や周産期医療の危機などが社会問題となっており、地域医療の最後の砦と言われる大学病院への期待は日に日に高まってきています。しかしながら、国立大学病院を取り巻く環境は平成16年度の法人化に伴い一変し、運営費交付金のルールなど新たな制約の下では安定した財政基盤の維持は厳しく、健全な運営が困難になっている状況です。

そのような状況の中で今、注目されているのが「寄附講座」なのです。

寄附講座とは、大学や研究機関が民間企業や行政組織などの外部組織から寄附された資金等をもとに教育・研究等の振興を図る形態のことで、大学病院に設置されることにより、総合診療医の養成や医療体制の確立、先端医療の開発など地域医療への様々な貢献が期待されています。

## 地域医療システム学寄附講座

(平成21年1月1日設置 関連診療科：地域医療支援センター)

現在、地域における医師の偏在が顕著な状況下にあり、地域の医師不足解消及び地域医療体制のあり方については喫緊の課題となっています。これらの課題に対応するために熊本県が平成20年度からスタートさせた「第5次熊本県保健医療計画」の下、本寄附講座は、効率的な地域医療支援システムの確立、総合診療医の養成及びへき地における医師の卒



協定締結後、握手する崎元熊本大学長（左）と蒲島熊本県知事（右）

## 新生児学寄附講座

(平成21年1月1日設置 関連診療科：小児科)

周産期医療の危機が大きな問題となり社会の注目を浴びる中、熊大病院に新生児学寄附講座が誕生しました。

研究の面では、新生児に特有な遺伝性疾患の早期診断と治療、移植外科と協力した先天代謝異常症の生体肝移植の研究、新生児仮死の研究など、主に臨床分野に重点を置いた研究を行います。

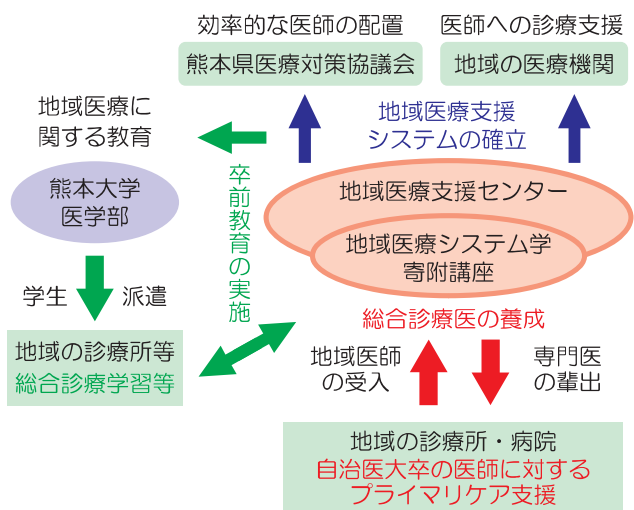
診療については、熊大病院周産母子センター新生児



前教育に取り組みます。

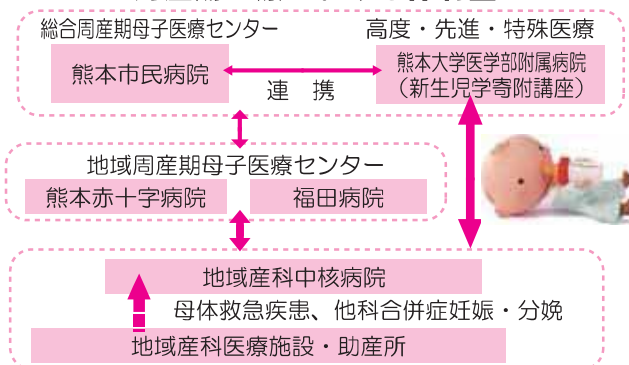
平成20年12月17日に蒲島熊本県知事と崎元熊本大学長とが熊本県庁において本寄附講座設置に関する協定を締結し、平成21年1月1日付けで熊大病院に設置されました。

## 地域医療システム学寄附講座の位置付け



集中治療室（NICU）を中心として高度で先進的な医療の提供を行い、更に大学病院の特性を生かして複数の診療科が協力する集学的医療も実施します。熊本県総合周産母子医療センターである熊本市民病院、地域周産母子医療センターである熊本赤十字病院、福田病院との連携はもとより、県内その他の医療機関と連携し母体搬送への協力や新生児搬送の受け入れを行います。

## 周産期医療における体制図



## 機能神経外科先端医療寄附講座

(平成 20 年 7 月 1 日設置 関連診療科：脳神経外科)

本寄附講座は、パーキンソン病などの機能神経疾患に対する脳深部刺激療法（DBS：脳組織を破壊することなく、その神経活動を制御できる治療法）等の研究を行い、脳神経外科と連携して診療を行っています。また、近年注目されている神経再生医療の研究・臨床応用にも力をいれています。

定常的に DBS を含めた機能神経外科を行っている施設は全国でも多くはなく、九州圏内の国公立大学では九州大学と熊本大学に限られます。

DBS の普及のため、九州圏内だけでなく全国の医師や医療従事者に対して、実地指導を含めた教育活動も行っていきたいと考えています。

## 心血管治療先端医療寄附講座

(平成 20 年 4 月 1 日設置 関連診療科：循環器内科)

近年、社会の高齢化や高血圧症、脂質異常症、糖尿病、メタボリック症候群を背景とした動脈硬化疾患が増加しています。これらの治療に、カテーテルという直径 2 ミリ程度の管を心臓や末梢の動脈に通し、動脈硬化により生じた動脈の狭窄や閉塞を再開通させる事によって、体の負担を少なく病状を改善する事が可能となりました。

本寄附講座は、カテーテル治療の効果的な施行技術の開発をはじめ、高度な技術が必要な症例に対する指導を、地域の医療機関だけでなく全国の循環器専門医に対して行うことにより、総合的なカテーテル血管内治療を行う医療スタッフの育成と先進的治療法の研究・開発を行っています。

## 不整脈先端医療寄附講座

(平成 19 年 4 月 1 日設置 関連診療科：循環器内科)

本寄附講座は不整脈の研究と治療を専門に行う目的で設置されました。近年、これまでは薬物による治療しかできなかった種々の頻脈性不整脈が、新しい診断解析装置を用いることによって、その原因や仕組みが解明されるようになってきました。同時にカテーテルを用いた治療による根治も可能となりました。本寄附講座は循環器内科と連携しながら、このような先進的な不整脈の診断と治療を行うことを主眼とし、また、これらの診療ができる専門医の育成を行っています。研究面では、不整脈の仕組みを解明し、適確な治療法を確立するなど、臨床面に重点を置いた研究を行っています。



## 診療科・部門紹介



平成 14 年 10 月、熊大病院西病棟新築にともない周産母子センターの中に新生児集中治療室（NICU）を開設しました。さらに地域の要望にこたえて、平成 19 年 11 月増床し、現在 NICU 6 床、新生児回復室 6 床の合計 12 床の新生児病床として稼動中です。NICU には出生体重 1,000 g 未満の未熟な赤ちゃんから、生まれつきの病気で呼吸ができない赤ちゃん、おっぱいが飲めない赤ちゃん、すぐに手術が必要な赤ちゃんなどが入院してきます。新生児医療に習熟した小児科医と専門ナースが産科、小児外科をはじめ

各診療科と密接な連携を行い、ハイレベルの医療を提供します。県内外の医療機関とも連携し妊婦さんの搬送、新生児の搬送の受け入れを行っています。また、熊大病院は県内唯一の大学病院でもあり、周産期医療に従事するすぐれた医師および助産師、看護師の養成にも力を入れています。NICU は重症な赤ちゃんの命を救うことが最大の使命ですが、家族の絆を大切に、24 時間面会可能とし、赤ちゃんにやさしい環境の提供、母乳育児の推進も積極的に行っています。産後の不安やうつ状態などにも、専門のスタッフがすみやかに対応します。安全安心なお産を提供し、母子ともに健やかに過ごせる未来のために努力しています。



### 東病棟建設

平成 20 年から始まった「東病棟」建設。工事の進み具合をレポートしていきます。



「上棟式」  
二十年十二月十日



開 式



工事用の  
エレベータ  
で上へ



(ココまで上ります)



上棟之儀



# 中央放射線部

当部門は以前から「中放：チューホー」の愛称でおなじみの部門です。平成 18 年末に新中央診療棟へ引越し、そのタイミングで、画像診断装置や放射線治療装置の多くを新しい装置に入れ換えました。当部門には、診断部門（一般撮影、CT、MRI、核医学（RI）、透視、超音波）と放射線治療部門があります。診断部門では、本誌の創刊号、第 2 号で紹介しました、高磁場（3T：テスラ）装置による MRI 検査や PET 検査を施行することが可能です。また CT 検査は 64 列検出器のマルチスライス CT を 3 台配置していま



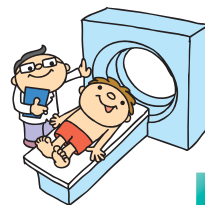
す。このように熊大病院には全国的にもまだまだ珍しい高度な診断装置が数多く設置されており、非常に診断能の高い検査を受けていただくことができます。



また、放射線治療部門では強度変調放射線治療（IMRT）、画像誘導放射線治療（IGRT）、定位放射線治療（SRT）を高精度

に施行できる治療装置を導入しており、近年の放射線治療技術の高度化にしっかりと対応できる環境が整っています。そのうえ、昨年 10 月から熊大病院では IMRT の保険診療が可能となっています。熊大病院に装備してある放射線診療装置はどれをとっても世界最高水準に達しており、非常に高度な診断、治療が可能です。

当部門は約 30 名のスタッフで構成されており、また、放射線技師の平均年齢が 31.5 才と若い職場です。まだまだ都会の大病院のスタッフ数に比べると多くはありませんが、若いスタッフで力を合わせて、患者様のため、そして地域の医療に貢献できるよう邁進しています。今後とも、よろしく、お願い申し上げます。



## 知っ得! 納得!

# 子宮頸がん ってどんな病気?

熊本県の年齢毎の  
がん発生部位（2000 年）



Q

原因はわかっているのですか？

### ウイルス感染が引き金に

A

子宮頸がんはヒト乳頭腫ウイルス（HPV）というウイルスの感染が引き金になってできます。このウイルスは性交渉を介して感染します。非常に多くの人（約 8 割の女性）が一生涯のうち一度はこのウイルスに感染すると言われています。特に、10 代後半から 20 代前半の女性は、約半数がこのウイルスに感染しています。しかし、多くの場合、ウイルスは自然に備わった免疫の力で体から排除され、いなくなります。ウイルスが子宮の出口（頸部）に長く感染し続けると、前がん状態さらには子宮頸がんへと向かいます。感染した女性の 1,000 人のうち 1 人ががんになっていくと考えられています。20 代と 30 代の若い女性のがんのトップを占め、最近、若い女性で子宮頸がんて亡くなる方が増加してきています。

Q

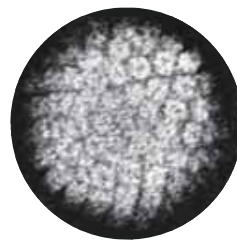
がんにならない方法はありますか？

## 定期的ながん検診

子宮頸がんは、ウイルスに感染してもすぐにはがんにならず、前がん状態から徐々に初期のがん、進行したがんへと向かっていきます。定期的（1～2年毎）にがん検診を受けていくことで、がんになる手前の前がん状態でみつめ、それを治すことができます。

また、ヒト乳頭腫ウイルスに対するワクチンが開発されています。世界中（100カ国以上）で既に使われていますが、日本は遅れており、このワクチンはまだ使用できません。しかし、近い将来、このワクチンが認可された場合には、ウイルスに感染する前の子供たちにワクチンを投与することで、子宮頸がんにならないようにしていくことができる時代が訪れます。しかし、ウイルスにはさまざまな型があり、ワクチンができてがん検診は必要であると考えられています。

A

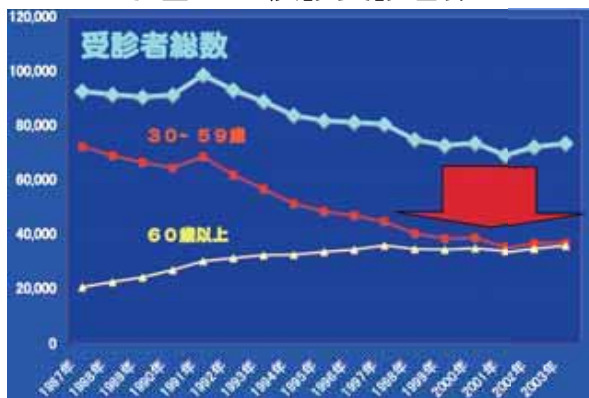


ヒト乳頭腫ウイルス



子宮頸がん

熊本県における  
子宮がん検診受診者数



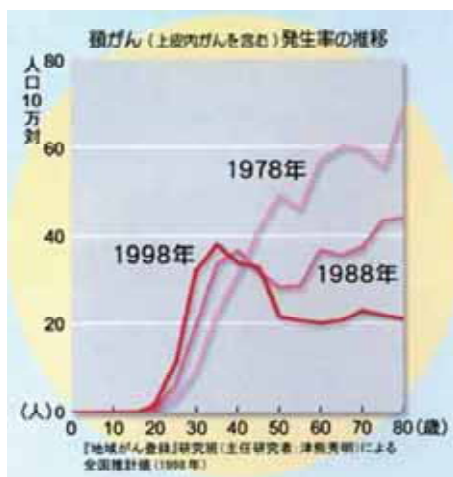
子宮頸がんになりやすい若い女性の受診者数の減少傾向が目立ちます。

Q

どんな治療方法がありますか？

A

がんの症状である性器出血などでみつかった場合には、進行したがんであることが多く、その場合には、**子宮とその周囲を取り除く手術、放射線治療や抗がん剤治療**が必要となります。しかし、定期的ながん検診を受け、前がん状態でみつかった場合には、**レーザー光線**を用いて病気の部分だけを焼くという方法により子宮を残すことができます。また、非常に初期のがんであれば、子宮の出口の部分だけを切り取る**子宮頸部円錐切除術**で、妊娠できるように子宮を残すことができます。



近年、若い女性の子宮頸がんの発生率の増加傾向がみられます。

子宮頸がんについてのご相談は、婦人科外来まで。

# がん診療連携拠点病院

## 研修教育部会

研修教育部会は、熊本県がん診療連携協議会幹事会の下に、抗がん剤治療等の専門医療人の養成、研修計画等を行うことを目的に設置されました。

研修教育部会は、熊本病院の乳腺・内分泌外科の岩瀬教授を部会長として、熊本病院の医師・コメディカル<sup>(※)</sup>及び地域のがん拠点病院の医師等をメンバーとして活動しています。

研修教育部会では、「①医師に対する研修」「②コメディカルに対する研修」「③医師・コメディカルを含む医療従事者全体に対する研修」「④がん診療に携わる専門的な知識及び技能を有する医師・薬剤師・

看護師を対象とした研修」を大きな柱として、研修計画を作成しています。

①～③の研修は、地域のがん拠点病院ごとに、化学療法、専門知識・技術の習得、早期診断に関する研修等を行い、④の研修は、熊本病院で院内外の医療関係者を対象として、チームや個別での研修を行う予定です。

また、がん診療に関する研修は幅広い範囲のものとなりますので、研修教育部会が中心となり、他の部会にもご協力いただき熊本県の医療従事者の能力向上を図っていただける研修を実施して行きたいと考えております。

※ここでは医師以外の医療従事者の総称

### 研修教育部会とは

熊本県がん診療連携協議会は熊本病院に設置された会議で、下部組織に「研修教育」、「医療機器」、「情報連携」、「がん登録」及び「緩和ケア」の5部会が置かれ、がん医療均てん化に向けた活動に取り組んでおります。

熊本県がん診療連携協議会

幹事会

研修教育部会

医療機器部会

情報連携部会

がん登録部会

緩和ケア部会

**熊本県がん診療連携協議会セミナー**

**がん登録について**

講師：「がん登録の必要性」  
熊本県がん診療連携協議会事務局 李 浩 功博  
講師：「がん登録のポイント」  
熊本県がん診療連携協議会事務局 小池 雄平  
講師：熊本県がん診療連携協議会事務局 及び がん登録推進員

【日 時】平成19年3月2日(金) 18:00～20:20

【場 所】熊本大学医学部総合研究棟1階 大講堂セミナー室  
（熊本県上水原町1-1-1 熊本大学）

---

**セカンドオピニオン外来の現状**

講師：「セカンドオピニオン外来の現状」  
熊本大学医学部附属病院 岩瀬 隆夫  
講師：熊本大学医学部附属病院 岩瀬 隆夫  
講師：熊本大学医学部附属病院 岩瀬 隆夫

【日 時】平成19年3月15日(木) 18:00～19:30

【場 所】熊本大学医学部総合研究棟3階 講義室  
（熊本県上水原町1-1-1 熊本大学）

---

**緩和ケアについて**

講師：「緩和医療の中の緩和ケアチームの実態」  
熊本大学医学部附属病院 岩瀬 隆夫  
講師：熊本大学医学部附属病院 岩瀬 隆夫  
講師：熊本大学医学部附属病院 岩瀬 隆夫

【日 時】平成19年3月16日(金) 18:00～20:20

【場 所】熊本大学医学部総合研究棟3階 講義室  
（熊本県上水原町1-1-1 熊本大学）



**臨床腫瘍学会の専門医を  
修得するために必要な臨床研修について**

【日 時】平成20年3月14日(金)  
18:00～20:20

【場 所】熊本大学医学部  
総合研究棟3階 講習室

【対 象】熊本県内の関連医療施設の医師等及び  
熊本大学医学部附属病院教職員、  
大学院生

【講演及び講師】  
後援機関 「第一がん治療認定医試験を促して」  
熊本大学大学院医学部附属がん診療学講座  
名誉教授 丹生 紀雄  
特別講演 「腫瘍内科医によるがん薬物療法」  
講師：神戸大学医学部附属病院内科  
教授 南 博信



**熊本県がん診療連携協議会セミナー**

**がん診療を支えるコメディカル  
—認定看護師、専門薬剤師—**

【講演及び講師】  
議題1 「認定看護師の資格取得と活動について」  
講師：熊本大学医学部附属病棟看護部  
緩和ケア認定看護師 高野 いづみ  
議題2 「がん専門薬剤師認定制度・研修制度について」  
～認定がんセンター申請施設での研修を踏まえて～  
講師：熊本大学医学部附属病棟看護部  
尾崎 悠 賢治

【日 時】平成19年10月18日(木)  
18:00～19:30

【場 所】熊本大学医学部  
総合研究棟3階 講習室

【対 象】熊本県内の関連医療施設の  
医師及びコメディカル等  
熊本大学医学部附属病院教職員

**熊本県がん診療連携協議会セミナー**

**がん診療を支える  
コメディカル**

**がん化学療法における安全管理**

【日 時】平成20年12月2日(火)  
18:30～20:00

【場 所】熊本大学医学部 総合研究棟3階 講習室

【対 象】熊本県内の関連医療施設の医師及びコメディカル等  
熊本大学医学部附属病院教職員

【主 辦】熊本県がん診療連携協議会研修教育部会

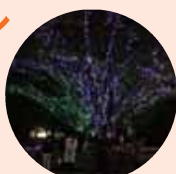
がん治療において、抗がん剤分子標的治療による化学療法は極めて大い  
しなしながら、化学療法を安全に行うには薬剤の適正使用のためのシミュレーション、薬剤  
や輸液管理での留意点など学ぶ必要がある。本セミナーではこれらがん化学療法の  
安全管理に関する内容を解説する。

### 恵和会イベント

財団法人恵和会のご厚意より開催されている院内のイベントを紹介します。

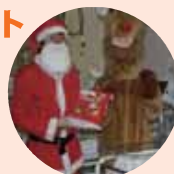
#### イルミネーション 点灯式!

平成20年11月4日に  
憩いの広場でイルミネ  
ーションの点灯式が行われ  
ました。



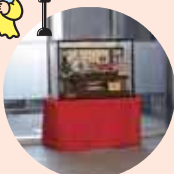
#### クリスマスプレゼント

平成20年12月24日に  
本院に入院している15才  
以下の子供にサンタクロース  
から、クリスマスプレゼント  
が贈られました。



#### ひな祭り

平成21年2月初旬～  
3月3日まで中央診療棟  
エントランスホールにて  
ひな人形を展示しました。



## 文部科学省大学病院 支援室長が講演

熊大病院では、去る1月23日、文部科学省高等教育局医学教育課小林万里子大学病院支援室長を迎え講演会を開催しました。

講演では、「大学病院の現状と課題」と題して、大学病院の機能概況、医師不足に関連した臨床研修医の減少、勤務医の負担増加及び周産期医療体制、あるいは今後の高度医療人養成のあり方など、近年、大学病院が抱える問題・課題が提示され、これに対応した臨床研修体制の強化、NICUの新設・増床等の整備、医療人育成の支援等、政府の事業方針について具体的なデータ等を示しながらの説明が行われました。



参加した約100人の教職員は、小林室長の話に熱心に耳を傾け、講演後の質疑応答では多くの質問が寄せられました。

熊大病院では、今回の講演の内容を参考に、今後の病院運営に役立てていきたいと考えております。

## あなたのランチ代の一部が 途上国の子どもの給食に

熊大病院内にある財団法人恵和会の花みずき食堂のメニューに2月から「テーブル・フォー・ツー(TFT)ヘルシーランチ」が登場しました。

このTFTヘルシーランチは、1食あたり20円(発展途上国の学校給食1食分相当)をNPO法人Table For Two(本部東京)から国連の世界食料計画や米国のNPO法人ミレニアム・プロミスを通じて発展途上国で飢餓や栄養不良に苦しむ子供達の学校給食として寄附するTFT運動の趣旨に賛同した熊本大学と財団法人恵和会が連携して始めたものです。

国立大学法人内の病院財団法人では恵和会が初めて参加したもので、従来のヘルシーランチをTFTヘルシーランチと改称して提供しています。ランチの代金には変更はなく、TFTに寄附する20円は恵和会で負担するそうです。

皆さまも、熊大病院へお越しの際は、花みずき食堂でTFTヘルシーランチを食べてみませんか。



## ホスピス・緩和ケア病棟

### ホスピス・緩和ケア病棟とは

抗がん剤などの積極的な治療が困難になった患者様に対して、体の痛みだけでなく、こころの痛みや不安を和らげるケアを行い、患者様やご家族が心豊かに穏やかな日々を送ることができるようお手伝いをすることで、病室は基本的に個室で、家族が宿泊できるような設備になっています。



### 熊本県内の緩和ケア病棟のある病院

- ・みこころ病院(熊本市上熊本)
- ・熊本地域医療センター(熊本市本荘)
- ・御幸病院(熊本市御幸笛田)
- ・西合志病院(熊本県合志市)
- ・人吉総合病院(人吉市老神町)
- ・阿蘇温泉病院(熊本県阿蘇市)
- ・メディカルケアセンターファイン(熊本市三郎)

入院するには、事前の面談が必要です。面談後入院の予約をすることになります。入院費は、高額療養費制度が適用されます。その他個室料金などが必要です。

緩和ケア病棟について詳しい情報を知りたい、面談の予約を取りたいなどご相談がありましたらご連絡ください。

### ● 相談日時

### 地域医療連携センター／がん相談支援室

月～金曜日(祝祭日除く) 8:30～17:15

TEL 096-373-5717、5766、5676



### 募集案内

## ボランティア活動員を募集します!!

- 活動していただく時間など  
月曜日～金曜日(休日を除く) 8:30～17:00  
※時間帯は相談に応じます。

- お問合せはこちら  
TEL: 096-373-5663(総務・企画課)



外来でのお世話



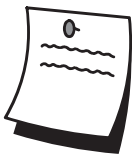
車椅子の手配と介助



幼児の世話



診療科等への案内



## 外来診療日 (各診療科の◎印は「初診」「再診」を行っています。)

平成 21 年 3 月 1 日現在

診療科名	月	火	水	木	金
総合診療部	◎	◎	◎	◎	◎
呼吸器内科	◎	◎	◎	◎ <small>再診は午後のみ</small>	◎
消化器内科	◎	◎	◎	◎	◎
血液内科	◎	特殊再診のみ	◎	特殊再診のみ	◎
膠原病内科	◎	特殊再診のみ	◎	特殊再診のみ	◎
腎臓内科	◎	◎	◎	◎	◎
代謝・内分泌内科	◎	◎	◎	◎	◎
循環器内科	◎	◎	◎	◎	◎
神経内科	◎	◎	◎	◎	◎
心臓血管外科		◎		◎	
呼吸器外科		◎		◎	
消化器外科	◎	◎	◎	◎	◎
乳腺・内分泌外科	◎	◎	◎		◎
小児外科	◎		◎	◎	◎
移植外科	◎		◎	◎	◎
泌尿器科		◎		◎	◎
婦人科	◎	不妊外来	◎	不妊外来	◎
小児科	◎		◎		◎
発達小児科		◎		◎	
産科	◎	不妊外来 生殖医療 カウンセリング	◎	不妊外来	◎
リハビリテーション部		◎		◎	◎
整形外科		◎		◎	◎
皮膚科	◎		◎	◎	◎
形成・再建科			◎	◎	
眼科	◎	◎	特殊再診のみ	◎	特殊再診のみ
耳鼻咽喉科、頭頸部外科	◎		◎		◎
歯科口腔外科	◎	◎	◎	◎	◎
画像診断・治療科	◎		◎		◎
放射線治療科	◎	◎	◎	◎	◎
こころの診療科		◎ (要予約)	再診のみ (要予約)	◎ (要予約)	◎ (要予約)
神経精神科		◎ (要予約)	◎ (要予約)	◎ (要予約)	◎ (要予約)
脳神経外科	◎		◎		◎
麻酔科	◎		◎		◎

熊大病院は高度医療を提供する「特定機能病院」として厚生労働省から承認されています。地域医療機関との分業を行うため、原則としてかかりつけ医（他の医療機関）の紹介状が必要です。円滑な診療のために紹介状をご持参ください。紹介状がない場合でも受診できますが、初回および再初診の際に「保険外併用療養費（選定療養）」として3,150円（自費、平成21年3月現在）をご負担いただきます。

## 平成19年度は43大学病院中1位!



## フードサービスに関する評価について

平成18年度から全国国立大学栄養部門として客観的評価の必要性から、フードサービスに関する評価を実施しています。

普通食を提供している患者様が対象で、病院給食に対する印象について統一した調査用紙を用いてアンケート調査を行った結果、平成18年度は43大学病院中6位、平成19年度は1位となりました。

今後もこの結果に甘んじることなく、治療の一環としての安全で満足度の高い食事の提供を目指します。

## Q & A

ここでは皆様の病院に関するご質問にお答えします。

**Q. 熊大病院には、コインロッカーはありますか？**

**A. 病院内におきましては、外来玄関口とリラックスコーナー内（ベーカーリーカフェ・サンテ隣）の2箇所コインロッカーを設置しております。入院の付き添い時等の必要なときは、ご活用ください。なお、ロッカーの利用は有料となっております。**



### 熊本大学医学部附属病院

〒860-8556

熊本市本荘1丁目1番1号

TEL (096) 344-2111 (代)

FAX (096) 373-5906

<http://www.kuh.kumamoto-u.ac.jp>